

第6回

相談マルシェ

主催:姫路市・認定NPO法人コムサロン21

参加
無料

相談マルシェでは、つながりをテーマに、「支え手」「受け手」という関係を超えて地域でのひきこもりについて考えます。午前の部では相談支援者を対象とした事例検討会を、午後の部ではひきこもり当事者やご家族も聴講いただける講演やトークセッションを通して、ひきこもりについて理解を深めます。

午前の部

10:00
～12:00

1部

事例検討会

講師 船越明子先生 神戸市看護大学 看護学部教授



午後の部

13:00
～13:30

2部

姫路市福祉つながる窓口 居場所「ぷちたぷち」 取り組み紹介

13:30
～14:30

3部

講演『あんたから見えてる景色が見たいねん ～10年後の彼と地域を見つめた応援～』

講師 野々村光子氏 東近江圏域 働き・暮らし応援センター“Tekito-” 相談統括



14:45
～15:25

4部

トークセッション『わたしのまちで、できることを考える』

登壇者 船越明子先生、野々村光子氏

2025年12月24日(水)

申し込み締切

12月10日(水)

午前の部 10:00 ～ 12:00

会場 姫路市 総合福祉会館5階
姫路市安田3丁目1番地 / 定員40名

対象 相談支援者、教育関係者

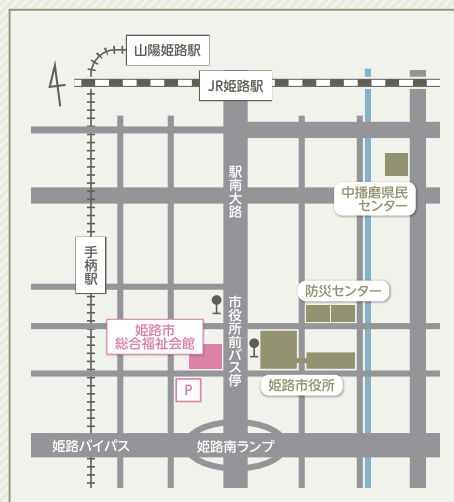
午後の部 13:00 ～ 15:30

会場 姫路市 総合福祉会館5階
姫路市安田3丁目1番地 / 定員80名

対象 相談支援者、教育関係者
民生委員、保護司
(播磨地域にお住いの)当事者、ご家族

■ 申込フォーム

<https://forms.gle/234f8wrUaPokRep16>





船越 明子 先生

神戸市看護大学 看護学部 教授

2010年に東京大学医学系研究科博士後期課程修了。2019年4月より現職に就かれています。現在は、「社会的孤立状態を経験した当事者の目線で助けになる支援とは何か」についての研究に力を入れておられ、特にひきこもり支援については、ライフワークとして取り組まれています。

著書に「ひきこもり 親の歩みと子どもの変化」、「子どものこころを育むケア～児童・思春期精神科看護の技～」などがあります。



野々村 光子 氏

東近江圏域 働き・暮らし応援センター“Tekito-”
相談統括

ご自宅は、ご家族が始められた作業所という環境にあり、その中で育ってられました。幼児教育の分野でのご活躍が期待されていた中、ある一人の精神に障害のある大人との出逢いをきっかけに、働くコトを応援する世界へと歩みを進められました。

通所授産施設で6年間勤務されたのち、京都労働局にて4年間にわたり就労支援に従事されました。そして2008年には、現在のセンターを立ち上げ、地域に根ざした活動を続けておられます。「人・働き・金・愛」が循環する地域づくりを目指し、さまざまな発信を続けておられます。



しんどいから おもしろいねん

『しんどいから おもしろいねん』は、東近江圏域 働き・暮らし応援センター“Tekito-”で支援活動続ける野々村光子氏が、現場での実践を綴った一冊です。福祉制度や支援の枠にとらわれず、「私が愛した男」「私にレッテルを貼る女」といった印象的なエピソードを通して、著者ならではの視点から支援のかたちをユーモアたっぷりに描いています。

野々村氏と「はたらきもん」たちが織りなす、働くよろこびに満ちた日々の物語です。

著：野々村光子 発行：コトノネ生活 発行日：2024年5月20日
判型：B6/196ページ ISBN:978-4-907140-51-9 価格：1,980円(税込)

お申込み、お問合せ

姫路市ひきこもり支援推進事業(ぷちたぷち)

運営 認定特定非営利活動法人コムサロン21
TEL 079-240-6299
mail hikikomori@com21.or.jp
所在地 〒670-0923 姫路市呉服町48 大手前通りハトヤ第一ビル5・6階
開所日時 月曜～土曜 / 10:00～17:00 (休み 日、祝、第2・4・5土曜日)